

# 交流のひろば

## おたより コーナー

### つぼの刺激で 仲間づくり

龍蔵寺町 今成 幸利 30

青少年課主催「仲間づくり」の一環の、「体によく効くつぼ健康セミナー」に参加しました。参加者は女性が多く、若い人でも健康に気を遣っているんだな、と実感しました。肩こりから冷え性など、いろいろなつぼがある中、頭痛には手のつぼ

## まちのニュース NEWS

### 子どもが活躍 祭りで山車を

南町一丁目

十月十二日と十三日の二日間、南町一丁目では前橋まつりに合わせ、毎年恒例の「南町一丁目祭」を行いました。初日は風もなくさわやかな秋晴れ。会場では、屋台や景品所が並び、朝早くから多くの人でにぎわいます。午前中は、

が効くとか、全然関係なさそうな場所がつぼだったのには驚きました。

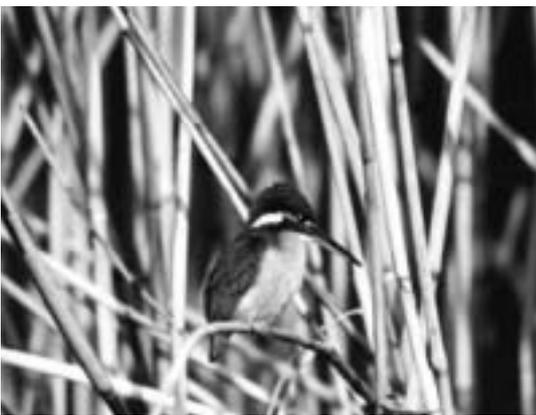
ためになつたのは、健康の条件で一番大切なのが、安定した精神であるというお話。睡眠、食事、運動は基本的なこと、それが当たり前のように思っていたので、とても意外でした。「病は気から」とは昔から言われていることですが、西洋医学が発達した現代、一番身近で簡単な「心の持ち方」を忘れていていることに気が付きました。

講義の最中には、隣の参加者に「ここぞです」と手のつぼを押してもらいました。ちよつと痛かったけれど、それがきっかけとなって話が弾み、楽しい講義に。また一人友達が増え、とても有意義な仲間づくり講座になりました。

小学生五十人が、山車を引いて町内を練り歩きました。この山車は、二十五年ほど前に町内の人たちが手作りした物。子どもたちがみんな力で合わせ、立派な山車を引つ張ります。午後は、子どもみこしも加わって前橋まつりに参加し、より一層盛り上がりました。



## まえばしの動物植物 ②4



### カワセミ

市自然環境保全推進委員

木村 誠

カワセミ科の鳥の代表格です。頭部と翼が濃い緑、背は青、腹部はだいたい色で全長十七。

長いくちばしで川や池などにすむ小魚や水生生物をダイビングして捕まえます。大きな魚はくちばしにくわえたまま枝や石などにたたきつけ、骨を砕いてからのみ込みます。雄はくちばしが上トとも黒で、雌は下がだいたい色。水辺のがけに直径六〜九、奥行き百〜二の横穴を掘って巣を作り、ひなを育てます。

奈良時代は青の枕ことば、室町時代には「翡翠」と呼ばれ、宝石の語源になりました。